

# 望西樓了惠上人年譜

石橋誠道

草		深		後		(代八十八) 皇天峨嵒後							
五	四	三	二	建長	二	寶治	四	三	二	寬元	年號		
十一	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一	了惠		
歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	歲	西紀		
1253	1252	1251	1250	1249	1248	1247	1246	1245	1244	1243			
了惠叡山に登り尊惠に従つて剃髪す(鎮流祖傳三) ● 正信房湛空寂す ● 親鸞愚禿鈔を著す ● 日蓮上人日蓮宗を開く ● 道元禪師寂す		三祖受學の師勝願院の良遍寂す(系譜下)		慈明上人、湛空上人より圓戒を受く 時頼三祖を請して蓮華寺(光明寺)の祖とす(鎌倉日記) ● 醍醐の乘願房寂す(勅傳四十三) ● 嵒峨の念佛房寂す(勅傳四十八) ● 白旗寂慧上人生る(新撰往生傳)		大悲菩薩寂す ● 時頼建長寺を建て、道隆を祖とす 三祖淨土大意鈔一卷を著す		大覺禪師道隆宋より來る ● 北條經時卒す 西山澄空寂す ● 榮朝寂す ● 北條時頼道元に從つて菩薩戒を受く		大悲菩薩覺盛招提寺に住す		了惠生る(和語燈錄跋) 北條經時鎌倉佐介谷に蓮華寺を建つ(檀林志) 聖一國師東福寺に入る ● 道元永平寺を開く	

皇 天 山 龜										(代 九 十 八)																									
六	五	四	三	二	文 永	三	二	弘 長	文 應	正 元	二	正 嘉	康 元	七	六																				
二十七歳	二十六歳	二十五歳	二十四歳	二十三歳	二十二歳	二十一歳	二十歳	十九歳	十八歳	十七歳	十六歳	十五歳	十四歳	十三歳	十二歳																				
1269	1268	1267	1266	1265	1264	1263	1262	1261	1260	1259	1258	1257	1256	1255	1254																				
三祖の弟子道岳群疑論探要記十四卷を作る(要語類聚)		丁惠蓮華藏寺に住す龜山天皇勅明道場となし悟真寺の號を賜ふ(淨土宗年譜)		白旗寂慧、觀山の仙曉の室に入る(新撰往生傳)		向阿上人入生		く普寧宋に還る		三祖武州足立に於て觀經疏を講ず(淨土宗年譜)●山徒自ら延曆寺を焼く又園城寺の戒壇を燒		三祖論註記を草す(論註略鈔下)●西明寺時頼卒す		敬西房時頼に源空傳を進す(勅傳二十六)●親鸞寂す		日蓮を伊豆の伊東に配す		三祖徹善擇鈔二卷を著す又西宗要聽書二卷を作る(宗要聞書)●宋僧普寧來る		日蓮立正安感論を幕府に進す		宇都宮蓮生寂(勅傳二十六)		三祖の傳通記成る(散記三)●ト總の在阿寂す(淨土宗年譜)●遠江の禪勝房寂す(勅傳四十五)		●三祖用意問答一卷を著す(淨土宗年譜)●覺空上人寶覺上人共に禪宗に歸す(古事類苑)		三祖授手印疑問鈔二卷を作る(辨問鈔序)●三祖傳通記を起草す(散記三)		在阿三祖の弟子となる(鎮流祖傳三)		敬西房信瑞廣疑瑞決集一卷を作る(瑞決集序)●時頼道隆に從て入道す		三祖決疑鈔五卷を著す(決疑鈔序)又三心私記を著す(三心私記序)	

後 宇 多 天 皇									(代 十 九)				
六	五	四	三	二	弘安	三	二	建治	十一	十	九	八	七
四十一歳	四十歳	三十九歳	三十八歳	三十七歳	三十六歳	三十五歳	三十四歳	三十三歳	三十二歳	三十一歳	三十歳	二十九歳	二十八歳
1283	1282	1281	1280	1279	1278	1277	1276	1275	1274	1273	1272	1271	1270
了惠知恩傳二卷を著す、(恐は此頃か)●良心、尊觀の門に入る	三祖安樂集記二卷を著す 時宗圓覺寺を建て佛光國師祖元を開山とす●日蓮寂す	元兵壹岐を侵し又太宰府を犯す	了惠、覺空に従つて天台菩薩戒疏を學ぶ(戒疏見聞第一)●了惠三祖より授手印を傳受す(新 知恩院藏授手印)●聖一國師寂す	了惠、三祖より圓戒を受く(光明院圓戒譜)●寂懸鎌倉光明寺の第二世となる●又元使を斬る	求道房惠尋寂す(淨土宗年譜)	三祖選擇集疑問答一卷を著す(疑問答) 了惠、慈明上人より圓戒を受く(光明院圓戒譜)	三祖慈心禮阿尊の請に依て上洛す(然阿上人傳)●一遍上人時宗を開く 後深草上皇三祖を請して淨教並に圓戒を受け賜ふ(鎮流祖傳二)	了惠和語燈錄を集む(和語燈錄序)●了惠尊問愚答記一卷を著す(寺傳尊問愚答記)●傳通記再 治十五卷成る(散記三) 時宗元使杜世忠等五人を斬る	了惠、漢語燈錄を集む(漢語燈錄序)		了惠洛東三條に悟眞寺を創す(法林寺位牌)●三祖論註記五卷を著す(論註略鈔下)●後嵯峨 法皇崩す	日蓮上人佐波に流さる	寂懸、三祖の室に入る(新撰往生傳)

正 安	(代二十九) 皇 天 見 伏										(代一十九)				
	六	五	四	三	二	永 仁	五	四	三	二	正 應	十	九	八	七
五十七歲	五十六歲	五十五歲	五十四歲	五十三歲	五十二歲	五十一歲	五十歲	四十九歲	四十八歲	四十七歲	四十六歲	四十五歲	四十四歲	四十三歲	四十二歲
1299	1298	1297	1296	1295	1294	1293	1292	1291	1290	1289	1288	1287	1286	1285	1284
舜昌勅修御傳四十八卷を上る(淨土宗年譜)●藤田の性眞寂す●元僧一寧來朝す		小幡の慈心寂す●一條禮阿寂す(大經鈔跋)	了惠無量壽經鈔七卷を著はす(無量壽經鈔跋)●了惠選擇大綱鈔三卷を著す(大綱鈔下)			三祖に記主禪師の號を賜ふ(然阿上人傳) 持阿良心、決答受決鈔二卷を著す●藤田性眞決答授手印見聞二卷を著す				寂慧、尊觀と業事成辨の義を論す。●興正菩薩觀尊寂す	一遍上人寂す	藤田の性眞下總に高聲寺を建つ	向阿禮阿に歸して淨教に入る	三祖鎌倉に還る(十六疑問答見聞一)●佛光國師寂す	了惠覺空より圓戒を受く(光明院圓戒譜)●了惠聖光上人別傳を著す(聖光上人傳) 時宗卒す

皇 天 園 花							(代四十九) 皇天條二後					皇天見伏後 (代三十九)											
三	二	正和	應長	三	二	延慶	二	徳治	三	二	嘉元	乾元	三	二									
七十二歳	七十一歳	七十歳	六十九歳	六十八歳	六十七歳	六十六歳	六十五歳	六十四歳	六十三歳	六十二歳	六十一歳	六十歳	五十九歳	五十八歳									
1314	1313	1312	1311	1310	1309	1308	1307	1306	1305	1304	1303	1302	1301	1300									
寂恵十箇條口傳肝要鈔を著す ● 尊観十六箇條決答を作る(淨土宗年譜)		北條宗宣卒す		東大寺の凝然、淨土源流章一卷を著す(同章終) ● 北條貞時卒す ● 北條師時卒す		後二條天皇崩す		向阿、淨土至要決を玄眞に授く(淨土宗年譜)		了惠論註拾遺鈔三卷を著す(論註拾遺鈔下)		惠鎮黒谷に至り律述を開く(淨土宗年譜)		龜山法皇崩す ● 大應國師南浦萬壽寺に住す		傳信、黒谷に圓戒を講敷す(淨土宗年譜)		白旗寂慧、決疑鈔見聞五卷を著す(淨土宗年譜)		深草の顯意、觀經疏楷定記三十五卷を著す、この年寂す(本朝高僧傳十六) ● 後深草法皇崩す		知眞、三經及び五部九卷を鏤刻す(般舟讚跋)	

後醍醐天皇(九十六代)

(九十五代)

二	嘉曆	二	正中	三	二	元亨	二	元應	二	文保	五	四
八十五歳	八十四歳	八十三歳	八十二歳	八十一歳	八十歳	七十九歳	七十八歳	七十七歳	七十六歳	七十五歳	七十四歳	七十三歳
1327	1326	1325	1324	1323	1322	1321	1320	1319	1318	1317	1316	1315
寂惠、定惠に戒統を傳ふ(寺傳戒牒)	北條高時落髮す	鶴木行觀寂す(總系譜中)	智演、堺に旭蓮社を創し、十勝論十四卷を著す(蓮社稽古編) 後宇多法皇崩す●紫野大徳寺建つ	藤田の真心寂す(淨土宗年譜)	了惠和語燈錄を和恩院に上納す(名越叢書)●了惠新扶選擇報恩集二卷、扶撰擇正輪通義一卷を著す(新扶選擇報恩集)●寂惠、淨土迹聞鈔並に追加十一箇條を出す(淨土宗年譜)●虎關、元亨釋書三十卷を上る	了惠和語燈錄を開版し自ら版下を書く(和語燈錄跋)●智演歸朝す(鎮流祖傳四)●如一國師寂す(翼讚一)●舜昌、知恩院の第九世となる(翼讚一)●凝然寂す	寂慧、傳統靈書を定慧並に蓮勝に授く(淨土宗年譜) 傳信、洛東岡崎に元應寺を開て戒を弘む(鎮流祖傳四)●南禪寺佛燈國師寂す	知恩院の如一に佛元真應智慧如一國師の號を賜ふ(鎮流祖傳四)	山徒園城寺を燒く	了惠傳通記料簡鈔六卷を作る(淨土宗年譜)●了惠其弟子惠隆に自筆の授手印を授く●了惠、惠隆に自筆の圓戒譜を授く(淨華院の圓戒譜)●寂慧選擇集見聞一卷を作る(淨土宗年譜)●智演、元國に入る(新撰往生傳三)●伏見法皇崩す●一寧寂す	名越尊觀寂す(總系譜上)●那須の佛國々師高峰寂す	勅修御傳四十八卷正副成る(勅傳緣起) 持阿良心論註記見聞五卷を著す(註記表紙裏)●北條熙時卒す

元弘	二	元徳	三
八十九歳	八十八歳	八十七歳	八十六歳
1331	1330	1329	1328
<p>恐は了惠、此年に寂す  後醍醐天皇笠置に幸す ● 楠正成義兵を擧ぐ</p>	<p>了惠天台菩薩戒疏見聞七卷を作る(同見聞第七) ● 了惠寂す(寺傳)  後醍醐天皇了惠上人に廣濟和尚の號を賜ふ(新撰傳)</p>		<p>寂惠寂す(新撰往生傳)</p>